



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年02月25日 第1207号「週刊五十嵐レポート」

新商品は細分化で

商品戦略の中にこう書かれている。中小企業の規模でも1位になれる商品の発見は、商品や有料のサービスを「用途別」、「価格別」、「客層別」、「収入別」、「男女、サイズ別」などいくつかに分けて一つひとつ検討していく。こうすると、誰も気づいていない商品や力を入れていないものに気づくことがある。これを隙間商品・見落とし商品と呼んでいる。

2月21日付日経新聞、「ヒットのクスリ」は「歯ブラシも戦い、進化する」という記事。ドラッグストアの歯ブラシ売り場を見ると近年、ワイドヘッド型が幅をきかせている。とりわけ目立つのが、歯ブラシにおける市場1位ライオン、2位サンスターではなく、3位のエビス(奈良県)である。

2000年代後半、営業部長が「従来型では限界がある。磨き残しが少なくなるワイドヘッドの歯ブラシを投入してはどうか」と提案。ワイドヘッドの歯ブラシは海外では日常的に使われている。日本国内では歯科医が小さなヘッドで丁寧な磨くことを推奨して、ワイドヘッドはほぼ存在していなかった。

当初、トップは提案に理解しつつも小型に慣れもあり、とても売れるとは思っていなかったが、ワイドヘッドへの挑戦を決断。毛の太さや硬さ、間隔などを徹底的に工夫し、小型に負けない磨き心地を追求。2011年3月ワイドヘッド歯ブラシ「プレミアムケア」を投入。加工コストは通常より高くつき売価も割高。発売当初は全く売れなかった。しかし購入者の口コミがネットを通じて広がり「磨きやすい」と評価が高まった。時間を少しでも有効に使いたい「タイパ」品にニーズが強まった。2013年あたりから市場は右肩上がりに転じた。

商品のライフサイクルが導入期から成長期に入ってきた。こうなると競争相手が参入してくる。先発会社は防衛のため商品の数を多くする。エビスは通常の歯ブラシのように「かため」、「やわなかめ」を追加投入した。大手の参入も遅れ、ワイド市場(エビス約50%)を固めた。(帝国データバンク、21年5月期売上73億円、純利益3.4億円、従業員300名、1人当たり純利益1.1百万円)

私は歯ブラシ2本を使用。最初は小型で歯茎の食べかすを取り除く。次にワイド型でしっかり歯を磨く。ワイド型を見ると、エビスの「ザ・プレミアム61」ではないか。気づかないで使っていた。磨きやすいなどは思っていた。

ちょっと
気になる出来事

帝国データバンクによると、2024年の「飲食店」倒産894件、過去最多を更新した。前年(768件)比で16.4%増加、2020年(780件)コロナ禍を上回って過去最多を更新。負債規模別にみると、「1000~5000万円未満」が692件(構成比77.4%)で最多。小規模倒産が8割弱を占めた。個人事業主は倒産まではいかないが、閉店して撤退するところが多い。

私の住んでいる東京都江戸川区「京成小岩駅」周辺でも飲食店や食品販売店を新たに开店している。地元の間人が言うのも変だが、ケチな人が多い。客層を見据えて、商品を選び、価格帯を設定しなければならない。昨年8月に「パンケーキ屋」が开店した。パンケーキの価格帯が1500円以上。ドリンク類が800円前後。価格帯だけ見ると、开店する場所を間違えている。今年の1月末に閉店した。違う場所で2月からハンバーガーショップが開店。価格帯は2000円以上。客は全く入っていない。食べてみて、美味しいが、1300円ぐらいの価値。青山・原宿と間違えているのでは。3ヶ月~6ヶ月で閉店するのではと予想。一方、40年老夫婦2人で営んでいるすし屋。ランチは1000円、1500円。ネタは産直。月1日、感謝デーがある(予約制)。70人×客単価1万円以上。お客を見て商売をすることを教えてくれる。



一口メモ
知識

老いを楽しむ

日かたむくの離(り)なり。缶(ほとぎ)を鼓(う)ちて歌わざれば、大壺(だいてつ)のなげきあらん。凶なり。

「日かたむくの離なり」とは、一日の終わりに日が西に傾くことをいう。「大壺(だいてつ)」は九十才、百才の大老。人生の終末を日用の酒器(缶ほとぎ)を叩いて歌い楽しめないならば、老いを欺くだけになる、という意味になる。

必ず日が傾くように、人間も年をとり、没し、次の生命に役割を受け継いでいく。生あるものは必ず死すという事実を受け入れて、天命の終わりを楽しもう。没したくないと思うのは、時を知らない人である。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

榊五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

